

学校名・団体名：篠山市立西紀中学校

研究課題：主体的・対話的で深い学びにつながる予習及び授業におけるICT機器の活用  
～映像教材等による予習で授業を見通し、ICTを活用した対話で思考を深める授業の創造～

目的：効率的で短時間視聴が可能な予習映像教材や、効果的に思考を深めるタブレット上の協働学習課題の開発を進め、蓄積する中で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進

### A. 現状・課題

- 1 授業に意欲・見通しをもたせる家庭学習の充実
  - ・テレビやインターネットの視聴時間が長く、主体的な学習の時間の確保が十分でない  
(全国学力・学習状況調査 予習 H28：46.8% H29：59.5%)
  - ・予習を複数教科で実施した場合の宿題や復習との両立ができていない
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたふりかえりの充実  
ホワイトボード、紙による協働学習では対話から推敲・修正など思考を深める振り返りの時間が十分確保できていない
- 3 家庭で映像教材をネットやDVDで視聴できない生徒への対応

### B. 学校情報化の現状

- ・教科指導におけるICT活用：レベル1.2
  - ・情報教育：レベル2.0
  - ・校務の情報化：レベル2.0
  - ・情報化の推進体制：レベル1.6
- 本校の特徴：予習と協働学習におけるICTの活用

### C. 取り組み内容

- 1 映像教材等を活用した家庭学習で予習の習慣化
  - ・ICT機器の特性をいかし、2分程度で視聴可能な予習映像教材等を作成し、篠山市教育委員会コンテンツサーバーで生徒に閲覧させる。
- 2 タブレットによる思考の可視化・瞬時の共有化・試行の繰り返しの特性をいかした協働学習
  - ・予習により導入を短くし、思考の時間を十分確保した上で、タブレット等の発表で、思考の可視化、瞬時の共有化、試行の繰り返しを進め、推敲、修正する段階を確保し思考を深める授業の充実を図る。
- 3 家庭におけるICT環境格差是正
  - ・タブレットに映像を保存し、休み時間に図書室で視聴したり、貸し出したりする。生徒に対する貸し出しルールも研究する。

### D. 定着・普及の方法

- 校内研究会の予定
  - 一人一研究授業（随時）
- 公開研究会、学会発表等の予定
  - 6月11日 授業研究会
  - 8月30日 兵庫県立教育研修所 教育の情報化推進講座 発表
  - 11月19日 授業研究会  
(第2回は以下の指定校として発表)
    - ・パナソニック教育財団実践研究助成
    - ・兵庫県ICT利活用による教育の質の向上支援事業
    - ・篠山市主体的・対話的で深い学びを実現する学習形態の在り方指定校

### E. 成果目標・取り組み後の状況

- 1 映像教材等を活用した予習による主体的に学ぶ態度の育成及び業務改善
  - ・動画をはじめ予習課題の工夫により、家庭学習習慣を定着させることができる。さらに、授業に対する見通しや興味・関心・意欲をもたせ、主体的に授業に取り組むことが期待される。
  - ・教材作成における業務改善が促進され、教職員の指導力向上が期待される。
- 2 ICTを活用した協働学習による深い学びと業務改善
  - ・推敲、修正などの段階まで思考を深める授業改善を進められる。予習や協働学習の評価と達成度は、教職員・生徒アンケートや学力テストの無解答率などを分析し、PDCAサイクルを確立する。
- 3 生徒一人一台タブレット時代に向けたルールづくり
  - ・ネット環境のない家庭に対する支援方策が研究できる。

### F. 研究者や他校のアドバイス

- ・ただホワイトボードをタブレットに置き換えるだけでなく、タブレットの特性を活かし、「タブレットだからこそ」が出せるように研究するとよい。
- ・アナログとデジタルの融合にも目を向けるとよい。
- ・成果のとらえ方を考えておくことが大切。